

みんなとともに笑顔いっぱい



# みんなとともに



西日本の豪雨で亡くなられた方に、心より哀悼の意を表します。なお、JRC委員会では子どもたちの発案により募金活動を行います。被災地で役立てていただければと思います。

さて、本校も荒川に近く、他人事とは思えません。気象状況に関心をもちながら、的確な判断をしていかなければと思いました。



## 盛りだくさんの一日 — 7月12日(木) —

12日は、授業参観、懇談会の日でした。あわせて、1年と3年は学年行事も行われました。子どもたちは、お家の方に来ていただいて、とても喜んだことと思います。ご多用の中参観いただいたことに感謝申し上げます。

### 【1学年行事 給食試食会】



親子で「夏野菜カレー」を食べました。自分たちで給食を用意するわが子を見て、その成長を感じていただけたのではないかと思います。自校給食はおいしいですね。

### 【3学年行事 ドッジボール大会】



3年の子どもたちは休み時間にドッジボールをよくしていました。きっとその成果を発揮したことと思います。お父さん、お母さん方も、お疲れさまでした。

### 【2年授業 正しい歯磨きの仕方】



6歳臼歯は生え始めがむし歯になりやすい時期です。そのような時期にいる2年生に、担任と養護教諭で「歯の磨き方」の指導を行いました。保護者の方にもお出でいただいていたので、磨き残しがないか確認していただきました。それぞれの歯の特徴に合わせた歯磨きが大切ですね。

### 【5年授業 健康教育】



薬剤師の堀江勝洋先生を招いて、健康面についての話を聞きました。豊富なデータをもとに、専門的な立場から分かりやすく説明をしていただきました。自分の生活習慣を変えるきっかけとなるとうれしいです。

### 【校長のつぶやき】 その4 「“だいじょうぶだよ”と言える自分に」

みなさんは、わが子に「だいじょうぶだよ」と言えるだろうか。

子育てをしていると、いろいろな「ささやき」が周りから聞こえてくる。「こんな点数ではだめだよ」「ちょっと変わった子だね」「先か思いやられるね」「親の育て方が悪いんじゃないの」・・・。

こんな有形無形のプレッシャーを受けると、親として「不安な気持ち」が大きくなってくる。すると、「もっと勉強をしろ」「どうして言うことを聞けないの」「こんなことしていると、将来困るよ」などと、その不安を子どもにぶつけ、不安は「親から子ども」へと移り、「子どもの表情」はくもっていく。かく言う私も、不安をあおる親のひとりである。

この「不安の連鎖」を断ち切る方法はあるのだろうか。それが、「だいじょうぶだよ」という魔法の言葉ではないかと考えている。そのかわり不安を受けとめなければいけない親は大変ではある。その覚悟ができたとき、子育ては一挙にレベルが上がり、子どもは「笑顔」になると思うのだが、いなかだろうか。